

宇治市教育委員会定例会会議録

日 時 令和元年12月12日(木) 午前8時00分 開議

場 所 宇治市役所 602会議室

会 議 日 程

- 日程第1 会議録署名委員の指名について
日程第2 会期について
日程第3 報告
日程第4 議案第22号 令和元年12月宇治市議会定例会提出議案に係る意見聴取
について

会議に付した事項 会議日程と同じ

出席者

教 育 長 岸 本 文 子
(教育委員)

教育長職務代理者 加賀爪 毅
委 員 金丸公一
委 員 中筋斉子
委 員 小山栄子

(出席職員職氏名)

部 長	伊賀和彦	副 部 長	上道貴志
教育支援センター長	市橋公也	教育総務課長	栗田益典
生涯学習課長	久泉昭人	学校教育課長	吉田秀平
教育総務課副課長	吉川貴之	生涯学習課副課長	宮本義典

(書記職員職氏名)

教育総務課企画庶務係長	加藤冬子	教育総務課主事	奥田峻也
-------------	------	---------	------

開 会 (午前8時00分)

開会宣言 教育長が12月教育委員会定例会の開会を宣言する。

日程第1 会議録署名委員の指名について

教育長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、小山委員を指名する。

日程第2 会期について

教育長から1日限りとする旨の提案があり、全会一致で決定する。

日程第3 報告

- (1) 令和2年(2020年)宇治市成人式について
- (2) 公民館の今後のあり方について
- (3) 令和2年度宇治市立笠取小学校特認入学募集結果について
- (4) 令和元年度 児童・生徒数推計について
- (5) 「要望書」等について
- (6) 宇治市教育委員会後援事業について

以上6件を報告する。

[説明]

(1) 令和2年(2020年)宇治市成人式について

令和2年宇治市成人式は、令和2年1月13日(月祝) 開場13時30分、開式14時、宇治市文化センター大ホールで開催する。目的は「新しく成人する人たちを祝い励まし、また、成人としての自覚を促す」としている。対象者は、男1,048名、女941名、計1,989名(令和元年12月1日現在)である。主催は、宇治市・宇治市教育委員会・宇治市成人式実行委員会である。

プログラムは、第1部の記念式典と第2部の特別企画となっている。式典での新成人代表挨拶は実行委員長が行う。また、第2部では、ビデオレターと抽選会を実施する。

また、成人式当日、午前11時現在で各種気象警報が発表されている場合、成人式は中止となる。

(2) 公民館の今後のあり方について

「公民館の今後のあり方について」10月8日から11月6日までパブリックコメントを実施したところ、意見者の数は216人だった。また、併せて10月下旬から11月上旬にかけて各公民館の利用団体等を対象とした初案の説明会を実施し、合計で241人の

方に参加いただいた。同時に11月25日までを期限としたアンケートを実施し、68団体から提出があった。現在、パブリックコメントやアンケートについて、集計作業等を行っているとともに、公民館の今後のあり方についての最終案の作成を行っている。今後、最終案を整えて、示す予定である。

(3) 令和2年度宇治市立笠取小学校特認入学募集結果について

募集期間は、令和元年10月17日(木)から令和元年11月25日(月)までとした。学校見学会は、募集の初日、10月17日に授業参観、学校見学、学校説明会を実施した。なお、学校見学会の参加者は11名であった。また、「指定校変更の申請書」を学校に提出し、学校面談を受けた入学希望者は4名であった。今回、3名の募集に対し4名の応募であったため、令和元年12月6日(金)19時より抽選会を市役所庁舎にて行い、3名の入学予定者を決定した。

この結果、令和2年度宇治市立笠取小学校在校生予定は、地元3名、特認18名の総数21名となる見込みである。

[質 疑]

[委 員] 特認を受けられた方たちの居住区域は偏っているのか。

[事務局] 特に偏っているということはなく、様々な地域から来られているというのが現状である。

(4) 令和元年度 児童・生徒数推計について

本推計は、令和元年5月1日時点の児童生徒数及び0歳から5歳の乳幼児の人口を基にして、現在の0歳児が小学校1年生になる令和7年度までの児童生徒数を推計したものである。なお、推計中の学級数については、小学校1年生と2年生は1学級35人以下、3年生以上の学年は1学級40人以下で推計している。また、教室数については、5月1日時点の教室数を記載している。

小学校児童数推計表(総括)は、令和7年度までの学校別の学級数と児童生徒数である。「小学校児童数推計表(総括)」については、学校名、令和元年5月1日現在の数値、令和2年から令和7年までの推計を表している。令和元年5月1日現在の列に「実C」、「C」、「児童数」と並んでいるが、「C」の欄は小学校1年生と2年生を1学級35人で、3年生以上を40人で学級を編成した時の理論値である。それに対して「実C」の欄は、小人数学級を編成したものも含む、今年度の実際の学級数を掲載している。なお、特別支援学級については、学級数、児童・生徒数ともに各校の下段に括弧書きで掲載しており、その数は全体の内数となっている。また、特別支援学級の児童・生徒数は、小学校では今年度の数値をそのまま推移させ、中学校では小学校の在籍人数を反映させたものである。「中学校生徒数推計表(総括)」についても、小学校と同じ構成になっている。

各学校の学年別の推計表では、5人以内の人数変動で学級数が増減する学年欄に白丸と

黒丸を記している。白丸は5人以内の児童数減で学級数が減少すること、黒丸は5人以内の児童数増で学級数が増加することを表している。

今後、令和7年までの推計で増加傾向を示している学校は、小学校で、北楨島、西小倉、大開、西大久保で、中学校はない。

すでに、小学生は平成30年度から1万人を下回っており、中学生は平成28年度から5千人を下回っており、全体的に少子化の傾向が続くものと考えられる。

[質 疑]

[委 員] 同規模の学校と比較した時に、木幡小学校の特別支援学級の児童数が非常に少ないが、理由があるのか。

[事務局] 特別支援学級の入級児童については、必ずしも学校全体の児童・生徒数が比例していくわけではない。入級については科学的な分析をした上で検討している。また、木幡小学校について通級指導教室も併設しており、特別支援教育は、しっかり児童の実態を見つめて進めており、特に他校と異なった教育が行われているとの報告は受けていない。

[委 員] 推計なので、実人数の変更が今後あるかもしれないということか。また、特別支援学級的人数が6年先まで変化していないのはなぜか。

[事務局] 特別支援学級の今後については、人数の把握が難しく、現時点の人数をそのまま示している。現在の就学前の幼児を正確に当てはめているわけではない。

(5)「要望書」等について

宇治市の中学校給食の実現をめざす会より「宇治市の中学校給食に関する要望」、宇治公民館(市民会館)の建て替えを求める会より「宇治公民館の今後のあり方への説明会の開催についての要望」、西小倉地域の小・中学校のあり方検討委員会より「西小倉地域の小・中学校のあり方に関わる要望」の提出があった。

(6)宇治市教育委員会後援事業について

青少年のための日中友好交流音楽祭京都国際音楽コンクール実行委員会主催の「青少年のための日中友好交流音楽祭第3回京都国際音楽コンクール」ほか3件、計4件の事業について後援した。

日程第4 報告第22号 令和元年12月宇治市議会定例会提出議案に係る意見聴取について

教育長より、本件は宇治市議会提案前の案件であり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により非公開とする旨の提案があり、全会一致で決定する。また、教育長より、本件は教育長の一身上に関する案件であるため、同条第6項の規定により退席する旨の説明があり、教育長が退席する。教育長退席後、同法第13条第2項により、教育長職務代理者が会議を進める。

[説明] 本議案は、令和元年12月宇治市議会定例会提出議案として、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に基づき、宇治市長から12月6日付けで意見を聴取されているものである。提出議案は「特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて」であり、教育委員会としてこれに異議がないとするものである。

宇治市特別職報酬等審議会においては、毎年度、他都市の状況、一般職の給与の動向等を総合的に考慮するという基本的な考えに基づき、市議会議員の報酬額並びに市長、副市長、教育長の給料の額の改定状況等の審査を行っており、今年度についても本市の財政状況、府内各市及び全国類似団体等における財政指標等の状況を見据え、改定状況等の関係資料を基に検討が行われた。

検討の結果、市長、副市長、教育長の給料の額はいずれも「据え置く」、期末手当については人事院勧告等を踏まえて、0.05ヶ月引き上げるとの判断となった。

これらの答申及び意見具申を踏まえた今回の主な改正点としては、期末手当について、令和元年度からの支給割合を0.05ヶ月引き上げるものである。

[質疑] なし

[討論] なし

[採決] 採決の結果、全会一致で可決する。

閉会宣言 教育長職務代理者が12月教育委員会定例会の閉会を宣言する。

閉 会 (午前8時45分)